

日本社会臨床学会入会のお誘い

日本社会臨床学会運営委員会

2013年4月13日

日本社会臨床学会は1993年4月に発足しました。したがって本年度（2013年度）は発足21年目を迎えています。

私たち学会は「社会・文化の中の『臨床』という営みを点検・考察し、さらにそのあり方を模索することを目的」として、「いまの時代を生きる人間の悩みや想い、その背後にある社会の矛盾や問題を、さまざまな領域や立場の人々が共に自由に考え合える場」（学会会則3条）を作り出すことを目指して活動を続けてきました。

この間、学会誌『社会臨床雑誌』20巻を発行し、「社会臨床シリーズ」全4巻（影書房発行、第1巻『開かれた病への模索』・第2巻『学校カウンセリングと心理テストを問う』・第3巻『施設と街のはざままで』・第4巻『人間・臨床・社会』）、『他者への眼ざし～「異文化」と「臨床」』（社会評論社）、『カウンセリング・幻想と現実』（上下2巻。現代書館）を編集・出版してきました。

また2008年4月には「シリーズ社会臨床の視界」全4巻（現代書館発行、第1巻『「教育改革」と労働のいま』・第2巻『精神科医療 治療・生活・社会』・第3巻『「新優生学」時代の生老病死』・第4巻『心理主義化する社会』）も出版しました。

学会員の多くは医療・教育・福祉といった現場の労働者・利用者、そこに関心を寄せる人、大学等の研究者などです。その「専門・関心領域」は様々で、既存の専門分野・領域を共通点として集う場所ではなく、差別や優生思想の問題、資格・専門性を疑う視点等にこだわりながら日常を暮らしている人々が共に考えることを求めて集う場所となっています。

私たち学会は年に一度総会をもちます。そこでは定期総会の他に、シンポジウムや記念講演も行っております。今年度（2013年度）は、「「貧困」とは何か～若者の現状を踏まえて～」 「生命観の変化を考える～胎児診断と延命医療の現状から」の二つのシンポジウムを実施する予定です。

学会の主な活動は、学会誌『社会臨床雑誌』（年3冊）、学会紙『社会臨床ニュース』（年数回）の発行、総会（年1回）・シンポジウム・学習会等（随時、年数回）の開催、単行本の出版などです。

会員には、学会誌・紙への寄稿、企画・運営へのご協力など、学会活動を共に担ってくださることを期待しています。なお、総会・学習会などは、非会員の方にも参加していただけます。

当学会の目的に共鳴して共に考えるお気持ちのある方ならば、どなたも会員になることができます。年会費（4月～翌年3月分）は6,000円です。皆様の学会入会を心からお待ちしています。

学会に関する問い合わせ.

日本社会臨床学会事務局

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1 茨城大学教育学部情報文化教室林研究室

E-MAIL : shakai.rinsho@gmail.com

郵便振替 : 00170-9-707357 (日本社会臨床学会)

WEB : <http://sharin.jp>

日本社会臨床学会入会申込書

入会を希望される方は、以下を記入の上、学会事務局まで、郵送・FAXにてお送り下さい。同内容をメールにて送付下さっても構いません。申込にあたっては、最低限、氏名、フリガナ、雑誌・ニュース等の送付先住所、記入年月日はご記入下さい。

なお原則として記入年月日が含まれる年度からの入会とさせていただきます。次年度・前年度からの入会等を特に希望される方はその旨お書き添え下さい（年度は4月から翌年3月までを1年度とします）。

氏名 _____

フリガナ _____

自宅 郵便番号 _____

都道府県名 _____

住所 _____

電話番号 _____

fax 番号 _____

職場・所属団体等 名称 _____

郵便番号 _____

都道府県名 _____

所在地 _____

電話番号 _____

Fax 番号 _____

電子メールアドレス _____

関心のあること _____

郵便物の送付先：自宅/ 所属先（どちらかに○をつけてください）

記入年月日： 年 月 日